

3 病院団体 緊急要望

2024年度 病院経営定期調査

- 中間報告 -

緊急速報



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

2024年 9月18日



一般社団法人 日本病院会 会長 相澤 孝夫
公益社団法人 全日本病院協会 会長 猪口 雄二
一般社団法人 日本医療法人協会 会長 加納 繁照

病院経営の危機的状況に対する救済措置・財政支援の要望

記

- 日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会の 3 病院団体は、診療報酬改定や、我が国の経済状況が医療機関に与える影響を調査・検証し、会員病院の運営に資すると共に、次回改定に向けて医療政策が改善する資料として発信していくことを目的として合同で調査を行っている。ここに中間結果(速報値)を取りまとめたので報告する。
- 3 病院団体による 2024 年度病院経営定期調査の中間報告(速報値)により、**病院の経営状況が急速に悪化している**ことが明らかとなった。
- 医業損益の前年同月比較(2023 年 6 月/2024 年 6 月)では**減収・減益**となっており、極めて厳しい経営状況が明らかとなった。
- 病院は深刻な経営不振の状況に陥っており、このままでは地域医療に少なからず影響が出る恐れが高い。国民の生命を守るためにも、**特例的な救済措置・財政支援**を求める。

- 調査目的：診療報酬改定が病院運営に与える影響を検証し、会員病院の運営に資することを目的とし、さらには安定的な病院運営が維持できる報酬設定を求めため、中央社会保険医療協議会や社会保障審議会等の協議の場に、その根拠となるデータを提示する。
- 調査方法：日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会に加盟する全病院に、診療収入等についてEメール又はFAX等による調査票配布により実施、回収を行った。
- 調査期間：2024年7月22日～8月30日※本中間報告書は、8月29日提出分までを集計。現在、9月27日まで回答期限延長中。
- 主な調査項目：2023年・2024年の各6月の診療収益、一人一日あたりの診療収入、延患者数、診療行為別点数、医業損益等の前年同月比較。2022年度～2023年度の医業損益等の通年比較等。
- 回答数：541病院（回答率：12.2%）有効回答数：480病院
（会員数：4,443病院：2024年7月1日現在）

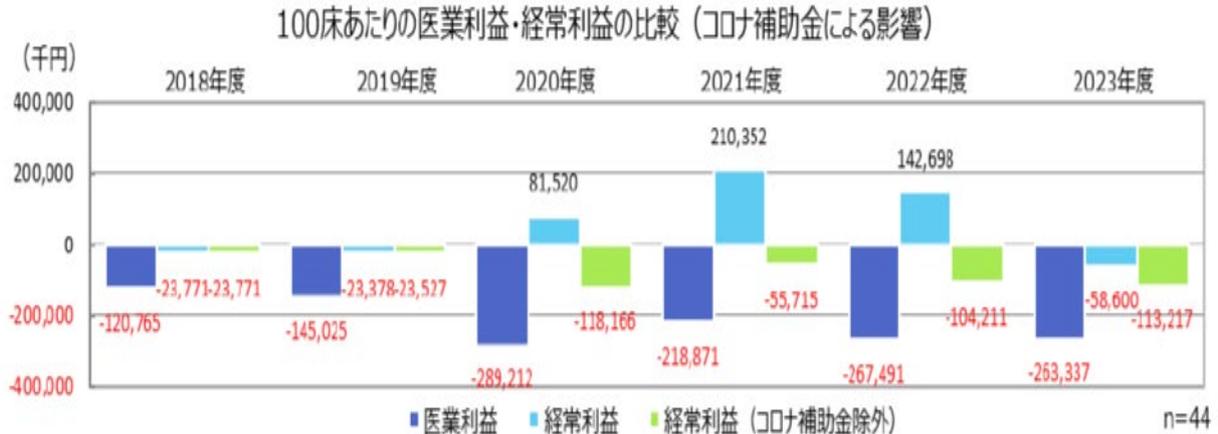
I. 医業損益の2年度連続比較(2022年度/2023年度) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

科目 (単位：千円)	全病院 (n=396) 平均病床数：303			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,735,569	2,817,369	81,800	3.0%
②医業費用	2,945,349	3,017,661	72,312	2.5%
③医業利益 (①-②)	-209,780	-200,291	9,488	
④医業外収益	394,963	217,538	-177,424	-44.9%
⑤医業外費用	50,824	51,370	546	1.1%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	134,359	-34,123	-168,482	
コロナ関連,水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-87,182	-83,912	3,271	
医業利益率 (③÷①)	-7.7%	-7.1%		
経常利益率 (⑥÷①)	4.9%	-1.2%		
※1_補助金(運営・施設・その他)	282,201	126,936	-155,265	-55.0%
※2_補助金を除く医業外収益 (④-※1)	112,761	90,603	-22,159	-19.7%
※3_損益差額 (③+※2-⑤)	-147,842	-161,058	-13,217	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	219,227	46,772		
⑧水道光熱費 補助金	2,314	3,017		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	5,039	4,414		

II. 医業損益の前年同月比較(2023年6月/2024年6月) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

科目 (単位：千円)	全病院 (n=369) 平均病床数：280			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	218,533	218,352	-181	-0.1%
②医業費用	237,930	240,159	2,230	0.9%
③医業利益 (①-②)	-19,396	-21,807	-2,411	
④医業外収益	7,834	6,250	-1,584	-20.2%
⑤医業外費用	2,230	1,767	-463	-20.8%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-13,793	-17,324	-3,532	
コロナ関連,水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-14,919	-17,353	-2,434	
医業利益率 (③÷①)	-8.9%	-10.0%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.3%	-7.9%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	1,067	3		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	59	25		





<まとめ>

- I. 医業損益の2年連続年度比較(2022年度/2023年度) 2023年度全病院の医業損益(稼働100床あたりの平均)で見ると、医業利益は**マイナス20,029万円**、経常利益は**マイナス3,412万円**、補助金を除く損益差額は**マイナス16,105万円**、コロナ関連の補助金を除く経常利益は**マイナス8,391万円**であり、全病院の平均経常利益は、2022年度プラス4.9%の黒字より2023年度**マイナス1.2%の赤字**となった。
- II. 医業損益の前年同月比較(2023年6月/2024年6月) 全病院の医業損益(稼働100床あたりの平均)で見ると、医業収益は前年比**マイナス0.1%**、医業費用は前年比**プラス0.9%**増となり、稼働100床当たり医療利益の**赤字幅は241万円**の拡大、医業外収益は**マイナス158万円**の減収、経常利益は**マイナス1,379万円**から**マイナス1,732万円**となり、**赤字幅は353万円**拡大していた。
- III. 2024年度は、診療報酬改定の影響もあり医業収益は前年比**マイナス0.1%**、コロナ関連緊急包括支援事業補助金、水道光熱費補助金は、減額ないしほぼゼロとなり、一方で給与費の負担増、物価高騰の影響で医業費用は、前年同月比較では、稼働100床あたり**プラス0.9%**増加していた。
- IV. 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較では、100床あたりの医業利益・経常利益の比較では、2023年度はコロナ関連の補助金を除く経常利益を含めて**すべて赤字**であった。
- V. (※別添資料)WAM(福祉医療機構)「2024年6月調査病院の経営状況(速報値)について、WAM(福祉医療機構)調査では、2023年度の一般病院(急性期)医業利益率は**マイナス2.0%**、同じく一般病院(急性期)経常利益率は**マイナス0.1%**と悪化していた。

(※別添資料)

病院経営動向調査 (2024年6月調査)

